

Case 6

脳梗塞の後遺症で左半身に麻痺が残り、腕や脚が思うように動かせなくなる。退院後、使い慣れたフライパンを使用できなくなり、杖歩行のため調理場内の移動が大変になったFさんの実例

目標 Goal

- ✓ フライパンを使用して調理動作をする
- ✓ 杖を使わずに敷地内を1周歩く



リフティブ
実施期間

2024年
9月開始

(週1回) × (8か月間実施)

2025年
4月卒業

リハビリ 内容

- 右肩関節の柔軟性を良くするためのストレッチ
- 実際のフライパンの重さと動きを再現した腕の運動
- 杖を使用しないで施設を大きく1周歩く
- ご自宅での自主訓練



リハビリ中の 変化

はじめは0.5kgの重さのフライパンで疲労感が見られたが、最終的に1.5kgの重さで楽に調理動作が行えるようになった。
250mの距離を杖なしで歩けるようになった。

リフティブ卒業後



左手でフライパンを振りながら右手で炒める動作が楽に行えるようになった！



調理場内だけでなく、屋外も杖を使用せず安定して移動できるようになった！



担当リハスタッフからのコメント

元々リハビリに意欲的な方だったため、リハビリ以外の時間も積極的に自主トレーニングや散歩を継続されていたことが、卒業に繋がった大事な要因に感じます。これからも使い慣れたフライパンを使用して、お客さまに美味しい料理を提供していただければと思います。

